

平成 17 年度枝肉成績とりまとめ概要

(地域肉用牛振興対策事業 肉用牛繁殖雌牛能力評価等対策)

平成 17 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日の期間にと畜され、平成 18 年 6 月 5 日までに本事業で収集された枝肉情報は全体で 85,839 件であり、平成 16 年度の 75,397 頭より 10,442 頭増加した。(社) 日本食肉格付協会により平成 17 年度に格付された和牛 407,501.5 頭(去勢 : 231,814 頭 雌 : 175,687.5 頭) の 21.1% を占めていた(インターネット : 牛・豚格付結果ホームページ <http://kakuduke.lin.go.jp> 平成 18 年 5 月 9 日更新より)

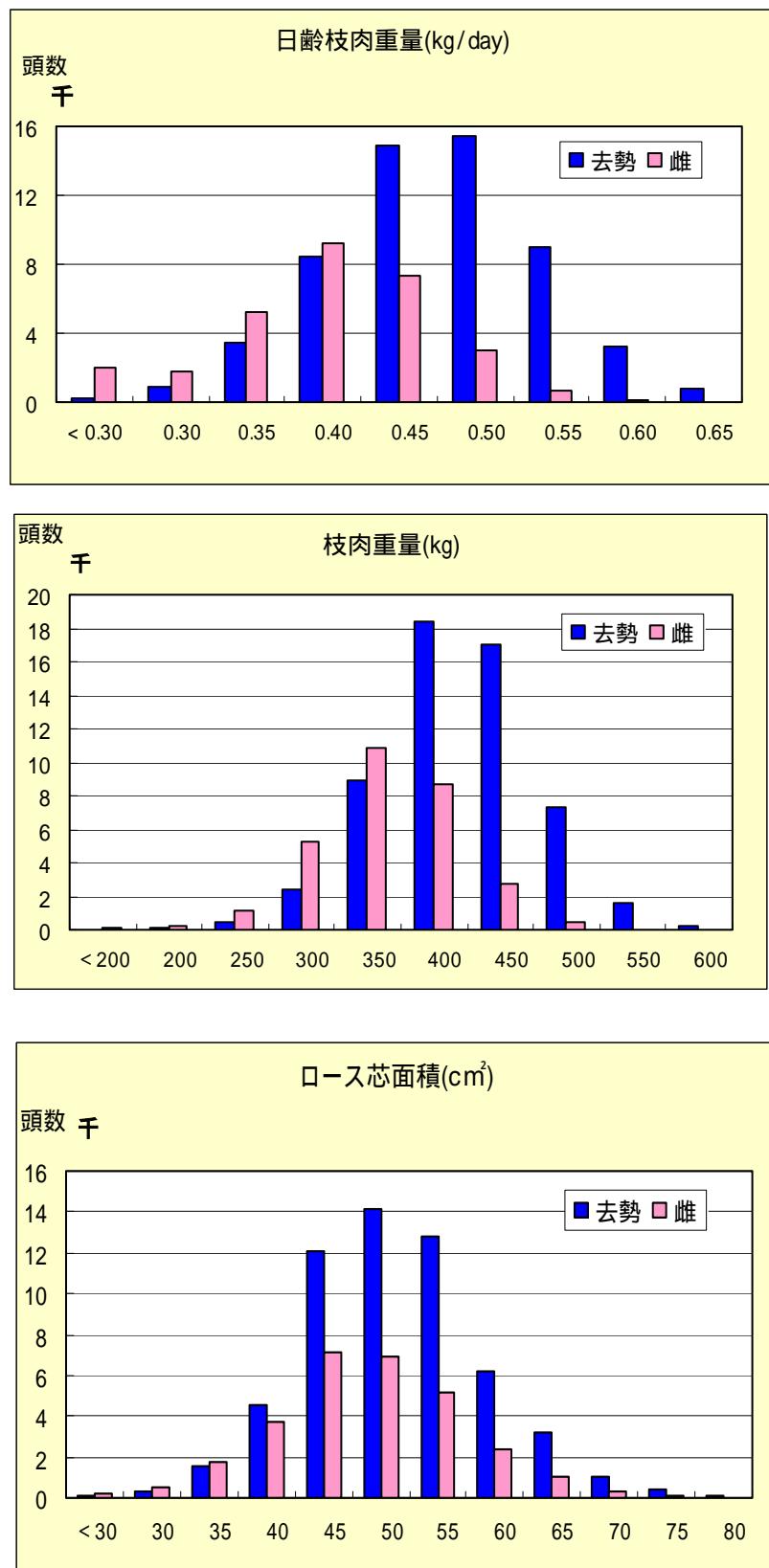
去勢、雌牛別の各形質の平均を年度別に表 1 に示した。去勢は全体頭数の 65.8%(対前年 -1.6%) を占めている。平均値については、BMS(No) で、去勢は 5.47 と前年より 0.1 増加、雌においては 5.02 と、前年より 0.06 減少した。

表 1 枝肉形質平均 ± S D

| 形質名 | 性別 | 14 年度 | | | 15 年度 | | | 16 年度 | | | 17 年度 | | |
|------------------------------|----|--------|-------|---------|--------|-------|---------|--------|-------|---------|--------|-------|---------|
| | | 頭数 | 平均 | ± S D |
| 日齢枝肉重量 (kg/day) | 去勢 | 63,407 | 0.487 | ± 0.064 | 65,747 | 0.490 | ± 0.065 | 50,786 | 0.492 | ± 0.069 | 56,514 | 0.499 | ± 0.070 |
| | 雌 | 34,649 | 0.418 | ± 0.058 | 33,256 | 0.423 | ± 0.062 | 24,611 | 0.414 | ± 0.089 | 29,325 | 0.417 | ± 0.096 |
| 枝肉重量 (kg) | 去勢 | 63,407 | 437.5 | ± 54.2 | 65,747 | 436.2 | ± 53.7 | 50,786 | 437.8 | ± 57.3 | 56,514 | 443.4 | ± 58.6 |
| | 雌 | 34,649 | 383.7 | ± 46.2 | 33,256 | 382.6 | ± 47.2 | 24,611 | 382.8 | ± 50.3 | 29,325 | 386.9 | ± 53.0 |
| ロース芯面積 (cm ²) | 去勢 | 63,386 | 52.6 | ± 7.9 | 65,716 | 52.9 | ± 7.8 | 50,742 | 53.0 | ± 8.1 | 56,466 | 53.2 | ± 7.9 |
| | 雌 | 34,624 | 51.2 | ± 8.0 | 33,238 | 51.5 | ± 7.8 | 24,529 | 50.8 | ± 8.2 | 29,225 | 50.7 | ± 8.3 |
| ばらの厚さ (cm) | 去勢 | 63,386 | 7.45 | ± 0.94 | 65,716 | 7.42 | ± 0.92 | 50,742 | 7.46 | ± 0.99 | 56,466 | 7.53 | ± 1.01 |
| | 雌 | 34,624 | 7.16 | ± 0.90 | 33,238 | 7.09 | ± 0.86 | 24,529 | 7.08 | ± 0.96 | 29,225 | 7.11 | ± 1.02 |
| 皮下脂肪厚 (cm) | 去勢 | 63,386 | 2.38 | ± 0.74 | 65,716 | 2.39 | ± 0.74 | 50,740 | 2.30 | ± 0.71 | 56,466 | 2.31 | ± 0.70 |
| | 雌 | 34,624 | 2.76 | ± 0.86 | 33,237 | 2.67 | ± 0.81 | 24,529 | 2.61 | ± 0.78 | 29,225 | 2.60 | ± 0.79 |
| 歩留基準値 | 去勢 | 63,386 | 73.61 | ± 1.33 | 65,716 | 73.64 | ± 1.30 | 50,742 | 73.73 | ± 1.31 | 56,466 | 73.72 | ± 1.29 |
| | 雌 | 34,624 | 73.57 | ± 1.43 | 33,238 | 73.64 | ± 1.36 | 24,529 | 73.60 | ± 1.39 | 29,225 | 73.56 | ± 1.43 |
| BMS (No) | 去勢 | 63,386 | 5.27 | ± 2.00 | 65,716 | 5.19 | ± 1.92 | 50,742 | 5.37 | ± 2.00 | 56,466 | 5.47 | ± 2.03 |
| | 雌 | 34,624 | 5.17 | ± 2.10 | 33,238 | 4.97 | ± 1.94 | 24,529 | 5.08 | ± 2.03 | 29,225 | 5.02 | ± 2.00 |
| BCS (No) | 去勢 | 63,386 | 3.85 | ± 0.64 | 65,716 | 3.79 | ± 0.64 | 50,742 | 3.80 | ± 0.60 | 56,466 | 3.77 | ± 0.58 |
| | 雌 | 34,624 | 4.05 | ± 0.66 | 33,238 | 4.00 | ± 0.67 | 24,529 | 4.00 | ± 0.65 | 29,225 | 3.99 | ± 0.62 |
| しまり | 去勢 | 63,386 | 3.69 | ± 0.90 | 65,716 | 3.68 | ± 0.88 | 50,742 | 3.71 | ± 0.91 | 56,466 | 3.73 | ± 0.92 |
| | 雌 | 34,624 | 3.60 | ± 0.94 | 33,238 | 3.54 | ± 0.92 | 24,529 | 3.53 | ± 0.97 | 29,225 | 3.48 | ± 0.96 |
| きめ | 去勢 | 63,386 | 3.87 | ± 0.80 | 65,716 | 3.86 | ± 0.79 | 50,742 | 3.91 | ± 0.80 | 56,466 | 3.94 | ± 0.81 |
| | 雌 | 34,624 | 3.78 | ± 0.83 | 33,238 | 3.72 | ± 0.81 | 24,529 | 3.74 | ± 0.89 | 29,225 | 3.71 | ± 0.89 |

各形質の平成 17 年度の度数分布を図 1 に示した。日齢枝肉重量は、去勢で 0.50 ~ 0.55kg/day が 15,493 頭と去勢全体の 27.7% (対前年 +0.1%) を占め、雌では 0.40 ~ 0.45kg/day が 9,218 頭と、雌全体の 31.4% (対前年 -0.9%) を占めていた。枝肉重量について、去勢で最も多く分布していたのは、400 ~ 450kg の 18,352 頭と去勢全体の 32.5% (対前年 -1.7%) 、雌は 350 ~ 400kg の 10,805 頭と雌全体の 36.8% (対前年 -2.3%) であった。ロース芯面積については、去勢で 50 ~ 55cm² が 14,144 頭と最も多く去勢全体の 25.0% (対前年 -0.02%) を占め、雌は 45 ~ 50cm² が 7,116 頭で雌全体の 24.3% (対前年 -0.5%) だった。

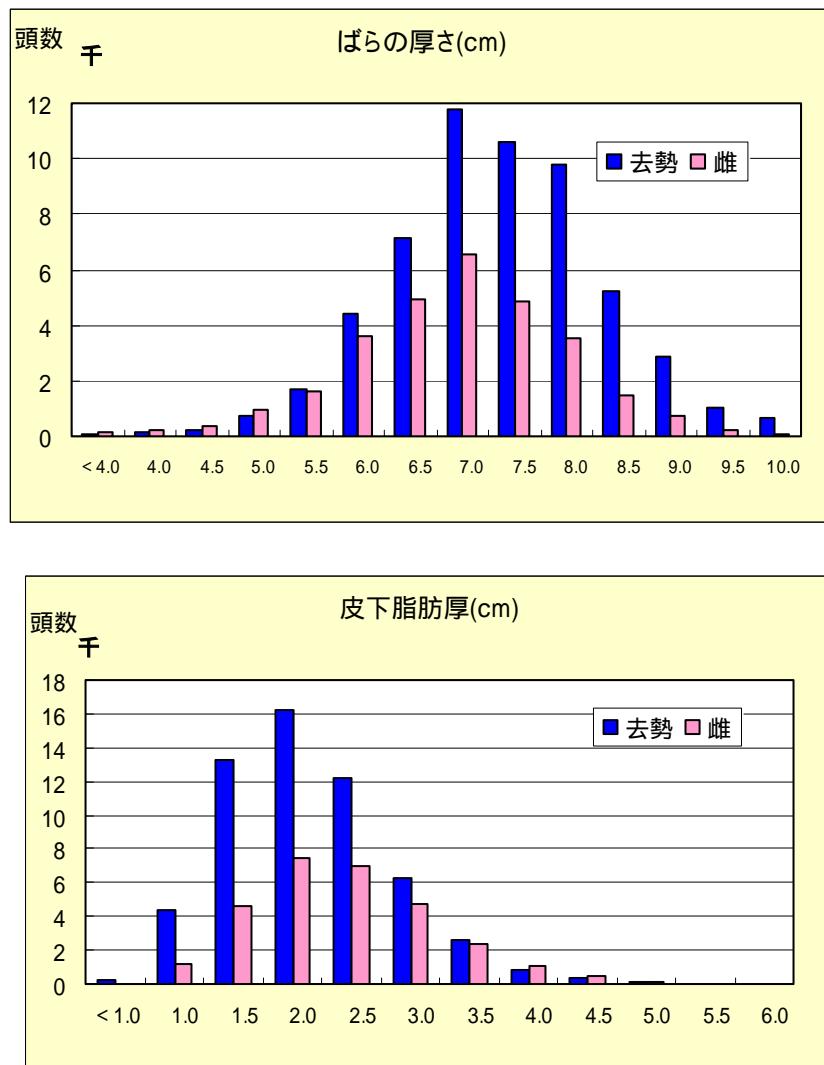
図1 各形質の度数分布



ばらの厚さについては、去勢において 7.0~7.5cm の階層が 11,761 頭と去勢全体の 20.8%(対前年-0.6%)と多く、次いで 7.5~8.0cm の 10,626 頭となり、去勢全体の 18.8%(対前年-0.1%)

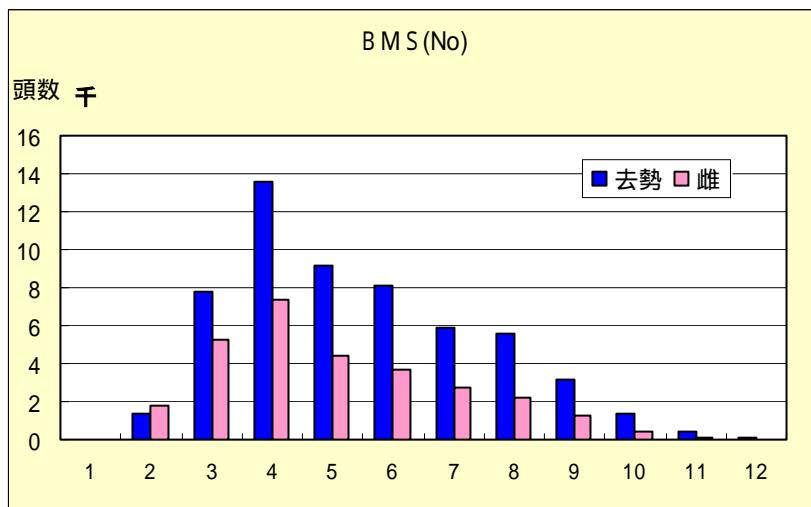
だった。雌では、去勢と同様に 7.0~7.5cm の階層が 6,567 頭で 22.5%(対前年-1.3%)と最も多く、次いで、6.5~7.0cm の 4,913 頭となり 16.6%(対前年(-1.8%))であった。皮下脂肪の厚さについて、去勢、雌ともに 2.0~2.5cm の階層が最も多く、16,206 頭で 28.7%(対前年+1.1%)、雌では 7,424 頭で 25.4%(対前年+0.4%)だった。

図 1 つづき



BMSにおいては去勢、雌ともに 4 が最多で、去勢 13,571 頭の 24.0%(対前年+0.4%)、雌 7,325 頭の 25.1%(対前年+1.2%)だった。BMS の等級区分は 8 以上が等級 5 となるが、去勢で 8 以上は去勢全体の 18.8%と、前年度の 17.0%より 1.8%増加し、雌は雌全体の 13.9%と、前年度の 14.5%よりも 0.6%減少した。

図1 つづき



国では、肥育期間の短縮を図り、生産性を向上させるために、表2のとおり目標値を掲げているところである。また、図2では、と畜月齢別の各形質の平均を示した。と畜月齢の平均は、去勢で29.4カ月、雌で35.1カ月であった。日齢枝肉重量については、去勢で27、雌で26カ月齢をピークに、月齢が進むほどに小さくなる傾向を示している。去勢について、枝肉重量、ロース芯面積およびばらの厚さで29カ月齢をピークに減少するが、32カ月齢から増加傾向にあった。雌牛については、枝肉重量およびばらの厚さにおいて、30カ月齢をピークに停滞傾向にあり、ロース芯面積においては、月齢が進むほど高くなっている。歩留基準値において、去勢については、月齢が進むほど高くなっているが、雌については、30カ月齢をピークに停滞するが、32カ月齢から増加した。

表2 黒毛和種去勢肥育牛の能力に関する目標数値

| | 肥育開始時 | | 肥育終了時 | | 枝肉 重量 | 1日平 均増体 量 | (参考) 肉質等級 |
|---------------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------------|--------------|
| | 月齢 | 体重 kg | 月齢 | 体重 kg | | | |
| 現 在 | か月 9.5 | kg 290 | か月 30 | kg 695 | kg 440 | kg 0.65 | 3.5 |
| 目 標 (27年度) | 8.0 | 240 | 24 | 675 | 430 | 0.90 | 3-4 |

注：1) 目標数値は、肥育期間短縮を目指したものである。

2) 「(参考)肉質等級」は、肉質の維持又は向上を目指しつつ、効率的な肥育を図るための目安である。

平成17年3月 家畜改良増殖目標より

図2 ♂畜月齢別分布

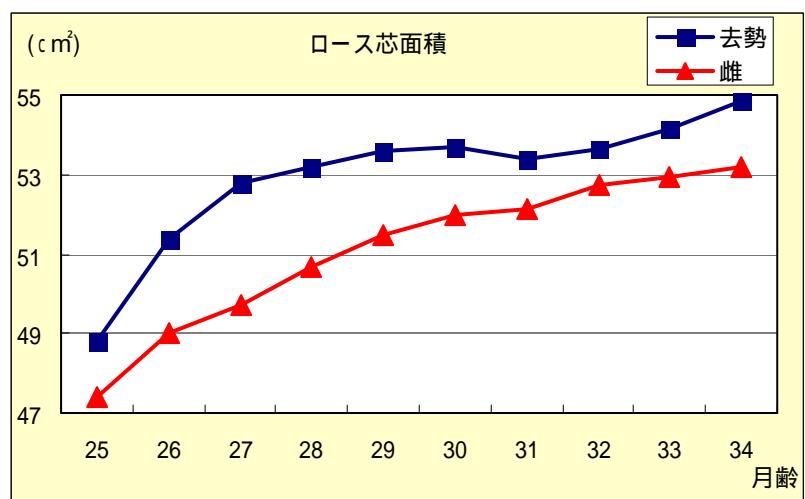
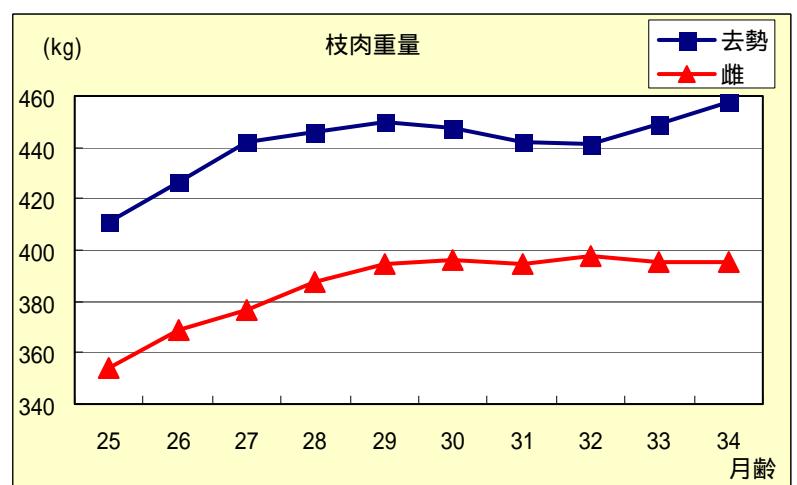
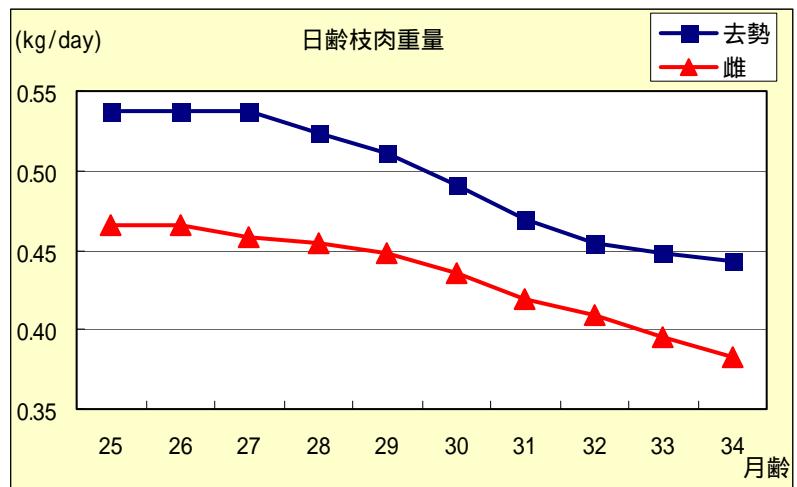
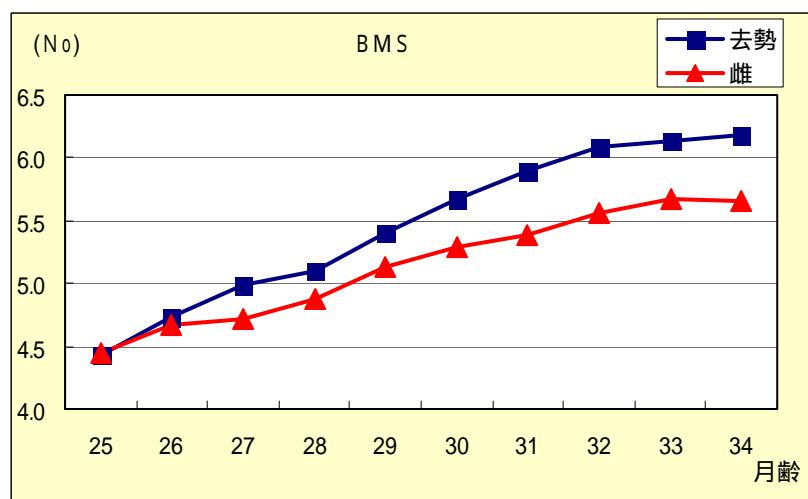
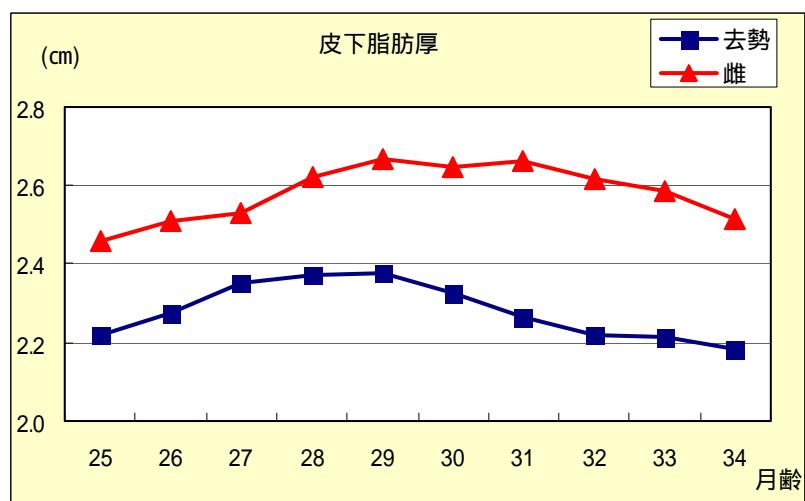
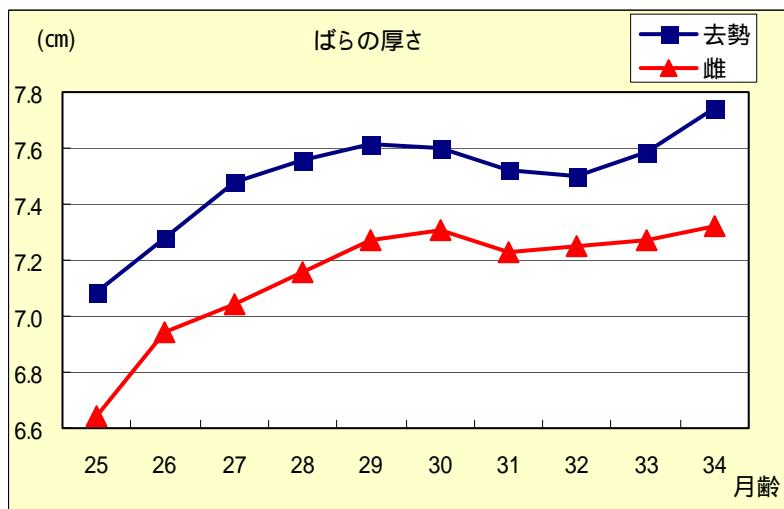


図2 つづき



《参考》枝肉成績まとめの見方

1)とりまとめの条件について

- 平成17年4月1日から平成18年3月31日の期間にと畜され、平成18年6月5日までに本事業で収集された黒毛和種の枝肉情報を集計しています。
- 各調査成績は生年月日、血統情報等個体が明らかなものについて集計しています。
- 一部不明なデータは集計から除外したため、項目により集計件数に差があります。

2)語句について

- 各調査成績中の平均は、各個体で報告のあった成績の合計をその個体数で割ったものです。また、 $\pm S D$ は標準偏差を示しており、この値が大きいほど個々の成績にバラツキが大きいことを示しています。

3)とりまとめ項目について

提供形質について

日齢枝肉重量(kg/day)、枝肉重量(kg)、ロース芯面積(cm²)、バラの厚さ(cm)、皮下脂肪厚(cm)、歩留基準値、BMS(No)、BCS(No)、しまり、きめの10項目です。

注) 日齢枝肉重量：枝肉重量をと畜日齢（と畜日から生年月日を引いた日数）で割った値

BMS：牛脂肪交雑基準

BCS：牛肉色基準

枝肉形質別平均 $\pm SD$ （去勢・雌）

年度全体平均

年度別の各枝肉成績の頭数、平均と標準偏差をそれぞれ示しています。